

FELLOW CYCLE
Ride on the Alps

世界三大グランツール2018 観戦&サイクリングツアー



Giro d'Italia
ジロ・デ・イタリア



Le Tour de France
ツール・ド・フランス



Vuelta a España
ブエルタ・ア・エスパーニャ

フェローサイクルセミナー 事前予約要

12/19(火)・1/19(金)・2/20(火)・3/20(火)

東京

大阪

名古屋

時間▶18:30~20:30)

時間▶18:30~20:30)

時間▶18:30~20:30)

会場▶フェロートラベル東京本社

会場▶フェロートラベル大阪支社

会場▶フェロートラベル名古屋営業所

海外サイクリングのツアーやコースなど、DVDや現地最新情報と共にご紹介いたします。セミナー終了後は、スタッフが個別相談に応じます。

※会場の都合上、電話やメールで事前予約をお願いします。※会場は変更になる場合もございます。ホームページ、電話でご確認ください。
※上記以外でも随時、東京・名古屋・大阪オフィスにて説明をいたします。8名様以上のグループの方は全国各都市にて出張説明会も行いますのでお気軽にご相談ください。

FELLOW TRAVEL

ツール・ド・フランス2018

観戦&サイクリングツアー



105回目を迎えるツール・ド・フランスは例年より1週間遅い7月7日にロワール地方で開幕します。今年もフェローサイクルではアルプス、ピレネーの2大山岳エリアからパリ・シャンゼリゼのフィニッシュまで、ツールの見どころを網羅した日程で企画。ツールの休息日には希望者はチームバスの訪問や周辺のサイクリングも体験できます。観戦場所もスタート地点、峠観戦など変化をつけてご案内いたします。

10日間コース
 日程▶7/15日～24日
 旅行代金▶¥495,000

10日間コース
 日程▶7/22日～31日
 旅行代金▶¥498,000

17日間コース
 日程▶7/15日～31日
 旅行代金▶¥718,000

※燃油サーチャージの目安は2017年11月現在¥10,200～¥13,400となります。※1人部屋追加料金は10日間コース¥69,000、17日間コース¥130,000となります。相部屋希望も可能です。※日本国内線は片道¥5,000にて手配いたします。

日程	内容	宿泊地・食事
7/15日 10日間コース出発 17日間コース出発	午後:成田・羽田・中部・関空発(途中降機地あり)ジュネーブへ。 夕刻:ジュネーブ空港着。空港にて現地係員がお出迎えし、専用車でアマシー(移動約2.5時間)へご案内します。 夜:アマシー到着後、ホテルへご案内します。	アマシー泊 □ ○ □
7/16日	[ツール・ド・フランス休息日] 周辺のチームバス訪問やアマシー湖周辺でのサイクリングにご案内します。	アマシー泊 □ ○ □
7/17日	[第10ステージ]アマシー～(159km)～ル・グラン・ボルナンの山岳ステージ 専用車でスタート地点のアマシーでのレース観戦にご案内します。観戦後、ラ・テュイールへ移動します。	ラ・テュイール泊 □ ○ □
7/18日	[第11ステージ]アルペールヴィル～(108km)～ラ・ロジエールの山岳ステージ 専用車でレース中盤のモンテ・ピザンヌの峠でのレース観戦にご案内します。観戦後、グルノーブルへ移動します。	グルノーブル泊 □ ○ □
7/19日	[第12ステージ]ブルグサンモリス～(175km)～アルプ・ドゥエズの山岳ステージ 専用車でゴール地点のアルプ・ドゥエズでのレース観戦にご案内します。観戦後、ホテルへご案内します。	グルノーブル泊 □ ○ □
7/20日	[第13ステージ]ブルグ・ドイサン～(169km)～ヴァランスの平坦ステージ 専用車でヴァランスに移動途中、ローヌ河畔のサイクリングにご案内します。サイクリング後、レース中盤のアニエ峠でのレース観戦にご案内します。観戦後、ホテルへご案内します。	ヴァランス泊 □ ○ □
7/21日	[第14ステージ]サン・ポール・トロワ・シャトー～(187km)～メンデの平坦ステージ 専用車でスタート地点のサン・ポール・トロワ・シャトーでのレース観戦にご案内します。観戦後、ホテルへご案内します。	ヴァランス泊 □ ○ □
7/22日 10日間コース出発	[第15ステージ]ミラウ～(181km)～カルカソンヌの平坦ステージ 専用車でカルカソンヌに移動。ゴール地点でのレース観戦にご案内します。観戦後、ホテルへご案内します。 ※7/22出発の10日間コースは夕刻、トゥールーズ空港に到着後、カルカソンヌへご案内します。	カルカソンヌ泊 □ ○ □
7/23日	[ツール・ド・フランス休息日] 周辺のチームバス訪問やカルカソンヌ周辺のサイクリングにご案内します。 ※7/15出発の10日間コースはトゥールーズ空港へ日本(翌日)へ。	カルカソンヌ泊 □ ○ □
7/24日	[第16ステージ]カルカソンヌ～(218km)～パニエール・デルシヨンの山岳ステージ 専用車でレース中盤の峠、コルド・メンテでのレース観戦にご案内します。観戦後、サンラリースランへ移動します。	サンラリースラン泊 □ ○ □
7/25日	[第17ステージ]パニエール・デルシヨン～(65km)～サンラリースランの山岳ステージ 専用車でサンラリースラン周辺のサイクリングにご案内します。サイクリング後、ゴール地点のサンラリースランでのレース観戦にご案内します。観戦後、ホテルへご案内します。	サンラリースラン泊 □ ○ □
7/26日	[第18ステージ]トリ・スル・ベス～(172km)～ポーの平坦ステージ 専用車でゴール地点のポーでのレース観戦にご案内します。観戦後、ルルドへ移動します。	ルルド泊 □ ○ □
7/27日	[第19ステージ]ルルド～(200km)～ラルンスの山岳ステージ 専用車でスタート地点のルルドでのレース観戦にご案内します。観戦後、ルルド周辺のサイクリングにご案内します。	ルルド泊 □ ○ □
7/28日	[第20ステージ]サン・ペ・スル・ニヴェル～(31km)～エスプレットのタイムトライアル(ヒルクライム) 専用車でタイムトライアルのスタート地点でのレース観戦にご案内します。観戦後、列車でパリへ移動します。	パリ泊 □ ○ □
7/29日	[第29ステージ]ウイ～(115km)～シャンゼリゼ(パリ)の平坦ステージ パリにて最終ステージのグラン・フィナーレ地点でのレース観戦にご案内します。	パリ泊 □ ○ □
7/30日	午前:専用車でパリ空港へ。空港にて現地係員が搭乗手続きのご案内をします。 午後:パリ発成田・羽田・中部・関空へ。	機中泊 □ ○ □
7/31日	午前・午後:成田・羽田・中部・関空着	

- 募集人数:20人限定
- 最少催行人数:8名
- 食事:7/15出発10日間コース(朝8・昼0・夕3)、7/22出発10日間コース(朝8・昼0・夕3)、17日間コース(朝15・昼0・夕6)
- 利用予定航空会社:日本航空、エールフランス、ルフトハンザドイツ航空
- 利用予定ホテル:ベストウェスタン(アマシー)、ボトンドール(ラテュイール)、イビス(グルノーブル)、アパート・シティ(ヴァランス)、イビス(カルカソンヌ)、メルキュール(サンラリースラン)、イビス(ルルド)、メルキュール・ギャール・リヨン(パリ)、その他同等クラス

※日本から添乗員は同行しませんが、各出発空港で係員がご出発のご案内をします。現地ではフェローサイクリングスタッフが添乗及びガイドいたします。※観戦ポイントは、当日の天候、交通状況、大会運営によって変更する場合があります。予めご了承ください。天候、お客様の体調、道路交通状況によって順序、コース等が変更になる場合があります。



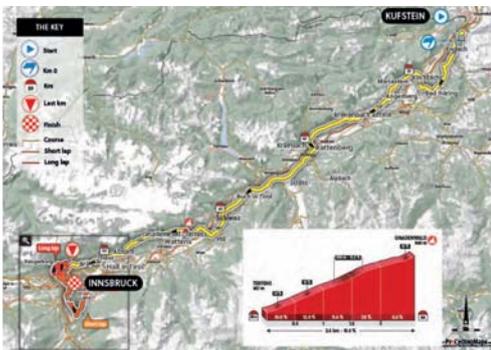
観戦ツアー （ご希望の方には観戦の合間に実費にてサイクリングにご案内します。）

UCIロード世界選手権2018



インスブルックの周回コース

2017年ノルウエーの地でペテル・サガンが前人未達の3連覇を成し遂げたロード世界選手権の「男子エリートレース」。2018年はオーストリア・チロール地方の中心インスブルックを舞台に開催されます。フェローサイクルでは男子エリートのレース観戦に加えて個人タイムトライアルの観戦にもご案内します。観戦の間にはインスブルックで選手滞在ホテルや市内観光、ご希望の方にはレースコースのサイクリングに実費にてご案内いたします。



クフシュタイン～インスブルック



アルプバッハタール～インスブルックの個人タイムトライアル

8日間コース
日程▶9/25(火)～10/2(火)
旅行代金▶¥389,000

※燃油サーチャージの目安は2017年11月現在¥5,800～¥13,400となります。※1人部屋追加料金は¥48,000となります。相部屋希望も可能です。※日本国内線は片道¥5,000にて手配いたします。

●募集人数:15人限定 ●最少催行人数:8名 ●食事:朝6・昼0・夕4 ●利用予定航空会社:ルフトハンザ・ドイツ航空、スイス インターナショナル エアラインズ、オーストリア航空 ●利用予定ホテル:ラマダ(インスブルック)、その他同等クラス
※日本から添乗員は同行しませんが、各出発空港で係員がご出発のご案内をします。現地ではフェローサイクルスタッフが添乗及びガイドいたします。※観戦ポイントは、当日の天候、交通状況、大会運営によって変更する場合があります。予めご了承ください。天候、お客様の体調、道路交通状況によって順序、コース等が変更になる場合があります。※サイクリングは4名以上にて2日間¥10,000でご案内します。

日程	内容	宿泊地・食事
9/25(火)	午後:成田・羽田発▶(途中降機地あり)ミュンヘンへ。午後:ミュンヘン空港着。空港にて現地係員がお出迎えし、専用車でインスブルックへご案内します。夜:インスブルック到着後、ホテルへご案内します。	インスブルック泊 □ □ 機
9/26(水)	【個人タイムトライアル】アルプバッハタール～(54.2km)～インスブルックの個人タイムトライアル 専用車でゴール地点のインスブルックでのレース観戦にご案内します。	インスブルック泊 朝 □ 夕
9/27(木)	【世界選手権休息日】 インスブルックで選手滞在ホテルや市内観光などにご案内します。	インスブルック泊 朝 □ 夕
9/28(金)	【世界選手権休息日】 ご希望の方にはインスブルック周辺のサイクリング (実費)にご案内します。	
9/29(土)	【世界選手権休息日】 ご希望の方にはシュヴァツからインスブルックの個人タイムトライアル、およびロードレースのコースでのサイクリング (実費)にご案内します。(約35km)	インスブルック泊 朝 □ 夕
9/30(日)	【ロードレース・男子エリート】クフシュタイン～(インスブルック周回含む 265km)～インスブルック 専用車でインスブルックの周回コースでの観戦にご案内します。	インスブルック泊 朝 □ 夕
10/1(月)	午前:専用車でミュンヘン空港へ。空港にて現地係員が搭乗手続きのご案内をします。 午後:ミュンヘン発▶(途中降機地あり)成田・羽田へ。	インスブルック泊 朝 □ □
10/2(火)	午前:成田・羽田着	機中泊 朝 □ 機



写真提供/Tommy Bause INN観光局より

2017年フェローサイクルでは
5月のジロ・デ・イタリア、7月のツール・ド・フランス、9月のブエルタ・ア・エスパーニャと
全てのグランツール観戦ツアーを催行いたしました。
ツール以外の観戦ツアーにつきましてはレースの詳細が決定次第、ツアー日程を発表します。

ジロ・デ・イタリア2018観戦ツアー

11月下旬発表予定



新たな歴史を刻み始める101回目のジロ・デ・イタリアは2018年5月4日エルサレムで開幕します。フェローサイクルでは後半のステージ観戦のツアーを予定しております。ジロ観戦をメインとしながらも、ご希望の方は観戦の合間にサイクリングや展望台観光にもご案内します。11月下旬のコース発表後に日程を発表しますので、どうぞご期待ください。

ブエルタ・ア・エスパーニャ2018観戦ツアー

2018年1月発表予定



LA VUELTA

2017年クリス・フルームのダブルツール制覇と引退を発表したコンタドールの最後のレースとして盛り上がりを見せたブエルタ・ア・エスパーニャ。壁のように見える激坂などジロやツールにも引けを取らない見ごたえのあるレースが展開されます。コースの一部のサイクリングに加えて前回ツアーで好評頂いたVIPエリアへのアクセスも予定しております。

ドロミテ山群屈指の サイクルコースを制覇

ベニス空港から車で約2時間、世界遺産に登録された荒々しくも美しい岩峰が連なるドロミテエリアに到着。フェローサイクルでは「ドロミテの真珠」と称されるコルチナダンペッツォとジロ・デ・イタリアでも度々登場するポルドイ峠に滞在して、サイクリスト憧れの絶景ルートにご案内します。レベルに合わせた出発日、電動自転車も含めた充実のレンタルショップ、サポートカーの同行と、安心してドロミテサイクリングをお楽しみください。



ドロミテサイクル・ハイライト8日間・9日間

出発日(土曜日)	8日間	9日間
6/9 ゆっくりのんびりウィーク	¥380,000	¥395,000
6/16 (今中大介氏同行)	——	¥482,000
7/7	¥403,000	¥418,000
7/21 ロングライドウィーク	¥408,000	¥423,000
8/18	¥510,000	¥525,000
9/1 ゆっくりのんびりウィーク	¥393,000	¥408,000

● ゆっくりのんびりウィーク

全体的ペースをゆっくり走り行したり、休憩の回数を増やします。ロングディスタンスではなく同コースのハイライトを走行距離50km以内に限定します。また、疲れた場合はサポートカーをお気軽にご利用いただけます。

● ロングライドウィーク

通常のプログラムよりロングコースを走行する設定となっています。1日平均100kmを走行し、広大なドロミテ地方をより広範囲に走行する特別プログラムとしてロングライド派にはおススメ。サポートカーが巡回するので安心して走行できます。

※燃油サーチャージの目安は2017年11月現在¥6,400～¥13,400となります。※1人部屋追加料金は8日間コース¥48,000、9日間コース¥56,000となります。相部屋希望も可能です。※日本国内線は片道¥5,000にて手配いたします。

日程	内容	宿泊地・食事
1日目 1日目	午後：成田・羽田・中部・関空発(途中降機地あり)ベニスまたはミラノ。 夜：ベニスまたはミラノ空港着。空港にて現地係員がお出迎えし、専用車でコルチナダンペッツォ(移動約2.5時間)へご案内します。 深夜：コルチナダンペッツォ到着後、ホテルへご案内します。	コルチナダンペッツォ泊 □ □ 機
2日目 2日目	終日：コルチナダンペッツォ周辺のサイクリングにご案内します。朝：レンタル、調整が必要な方はサイクルショップへご案内します。 【1日目】足慣らしを兼ねてコルチナダンペッツォ～チマバンケ峠～ミズリーナ湖～トレクローチ峠～コルチナダンペッツォのクリスタッロ周回コース(約42km・獲得標高約700m)	
4日目 4日目	【2日目】コルチナダンペッツォ～ドピアッコ～リエンツ(オーストリア)への国境越えルートを走行します。復路はリエンツからサンカンデイドまで列車に乗車します。サンカンデイドから自走にてコルチナダンペッツォへ。(約115km・獲得標高約600m) 【3日目】コルチナダンペッツォ～サンヴァイト・ディ・カドーレ～オウロンツォ～トレクローチ峠～コルチナダンペッツォの周回コース(約86km・獲得標高約1050m) ※滞在中の夕食はコルチナダンペッツォ近郊のアグリツーリズモでのスベシャルディナーです。	コルチナダンペッツォ泊 □ □ 夕
5日目 5日目	午前：マウンテンバイク用ロードにてコルチナダンペッツォからランドロ湖への往復へご案内します。(約40km・獲得標高約400m) ※マウンテンバイクのレンタルはツアーに含まれております。 午後：専用車でポルドイ峠へ移動します。	ポルドイ峠泊 □ □ 夕
6日目 6日目	終日：セラ山群周辺のサイクリングにご案内します。 【1日目】ドロミテのハイライト「セラロング」。セラ山塊を一周します。(約55km・獲得標高約1600m)	
7日目 7日目	【2日目】ポルドイ峠～アラッパ～ペスフル～スタウランツァ峠～フォルノ・ディ・ゾルド(約57km・獲得標高約650m)	ポルドイ峠泊 □ □ 夕
7日目 8日目	午前：専用車でミラノ空港へ。空港にて現地係員が搭乗手続きのご案内をします。午後：ミラノ発 成田・羽田・中部・関空へ。	機中泊 □ □ 機
8日目 9日目	午前・午後：成田・羽田・中部・関空着	

●募集人数：各コース8人限定 ●最少催行人数：5名 ●食事：8日間コース(朝6・昼0・夕5)、9日間コース(朝7・昼0・夕6) ●利用予定航空会社：アリタリア-イタリア航空、ルフハンザドイツ航空、スイス インターナショナル エアラインズ ●利用予定ホテル：トリエステ、ポンテキーザ(コルチナダンペッツォ)、サヴォイア(ポルドイ峠)、その他同等クラス
※日本から添乗員は同行しませんが、各出発空港で係員がご出発のご案内をします。現地ではフェローサイクルスタッフが添乗及びガイドいたします。
※上記日程に記載したコースは予定となります。当日の天候、お客様の体調等によって変更する場合があります。予めご了承ください。



6/16(土)出発はジロ・デ・イタリアやツール・ド・フランス出場経験のある今中大介氏が同行。

サイクリングツアー

France 2017 Cycling Tour



レポート
水澤 史

FELLOW CYCLE
Ride on the Alps



Destination Guide
by Fellow Staff 1



シャンゼリゼ通りの凱旋パレードラン

ガリビエ峠観戦は山岳ステージのハイライト



フランスの山岳リゾート、ブリアンソンをスタート



マルセイユでの個人タイムトライアル



集団でイゾール峠山頂フィニッシュ



フランスが観光立国たる国家戦略として、大企業アマリ・スボル・オルガニザシオン(ASO)が主催する世界最大の自転車イベント、ツールド・

フランスは、世界最大の年間約8千万人の観光客が訪れる観光プロモーションとして、多大な貢献をしています。フランスは周知のとおりパリ、モンサ

ツールド・フランスは世界最高峰の自転車レースであり、フランス観光産業そのもの

ンミッシェル、ロワール渓谷、サンチヤゴ・デ・コンポステラ巡礼街道など、世界遺産42カ所と世界で4番目。フランスの産業は、航空関連産業や原子力も基幹ですが、やはりワイン、チーズ、野菜、畜産品などEU輸出の約20%を占めるヨーロッパ最大の農業国です。今も変わらずモネ、ミレーの風景画のような広大なフランスの田園風景やヨーロッパ史の中心を担って来たフランスの軌跡を辿る遺跡、世界遺産、景勝地の数々。広大な氷河を頂く重厚なフレンチアルプス、ローヌ河に沿ってまてくれる中央アルプス。ス

ンミッシェル、ロワール渓谷、サンチヤゴ・デ・コンポステラ巡礼街道など、世界遺産42カ所と世界で4番目。フランスの産業は、航空関連産業や原子力も基幹ですが、やはりワイン、チーズ、野菜、畜産品などEU輸出の約20%を占めるヨーロッパ最大の農業国です。今も変わらずモネ、ミレーの風景画のような広大なフランスの田園風景やヨーロッパ史の中心を担って来たフランスの軌跡を辿る遺跡、世界遺産、景勝地の数々。広大な氷河を頂く重厚なフレンチアルプス、ローヌ河に沿ってまてくれる中央アルプス。ス

凱旋門に集まる沢山のツールファン



新城選手の応援団が集結



キャラバンカーも観戦の楽しみ



圧倒的な王者クリストファー・フルム



大画面から個人総合のポディウム

「ツール・ド・フランス2017」観戦&

Le Tour de &



パリの象徴、エッフェル塔



ペイン、アンドラとの国境をなすフランス南西部のピレネー山脈、地中海やビスケ湾の沿岸都市からパリ、マルセイユ、リヨン、ボルドーなどの都市を走りカトリックの巡礼街道、田園風景の中に点在する小さな街や寒村まで、選手たちが自転車で巡る。そのすべての風景が歴史そのものであり、魅惑の観光スポットなのです。

古代ローマ、中世、近代へ

1200万人が来場する世界3大ツールの頂点

キャンピングカーに宿泊しな

とヨーロッパ史の変貌の流れに扮しながらも、その根幹の景観は、今も大切に維持され、現代に至る風景。ツール・ド・フランスのレースの興奮とは別の次元で、その変わらぬ存在や山岳風景の美しさが、濃密なフランスの旅を演出します。

がら外で料理を作ったり、ワインを飲みながら家族や仲間たちとプロトンたち(選手二行)が走り抜けるのを応援したり、峠の登りや下り、街道で「アレ(行け行け!)」と応援をして盛り上がるのも醍醐味です。フランスのチームや選手が走ってくる、愛国精神が掻き立てられるのでしよう、応援はすごい一言! しかし、絶対的王者クリストファー・フルムをはじめとするヨーロッパ諸国の強豪国、ロシア、コロンビアなど自転車熱が高い国々から、自国の国旗を掲げ、仮装した大勢の国際色豊かな応援団がやってきます。

選手たちの走行は凄まじく速く、峠さえ一瞬で通過していきます。時速40〜70kmの速度で走る自転車レースは、移り変わる風景をテレビ中継で映すことが最も効果があるという理由から、グランツールが生まれたようです。世界中に約43億人の視聴者、全ステージで1200万人の来場者を呼び込む世界3大ツールの頂点に君臨する「ツール・ド・フランス」。他の2大ツール、「ジロ・デ・イタリア」「ブエルタ・アエス・パニーヤ」と比較すると、その知名度、存在感ともに、別格なのです。

マルセイユ&パリで至福の街散策

ツール・ド・フランスのもう一つの楽しみは、フランスの由緒ある街散策。今回のタイムトライアルは南仏マルセイユで開催。ヨーロッパ最古の港であり、古代ギリシャのポカイア人が築いた植民地として栄えた街。そして、最終日はパリの凱旋門でグランフィニッシュ。選手二行が到着するまで、パリの街中をレンタサイクルで楽しむなど、観戦の合間の街散策も格別な至福の時間です。



マルセイユ、パリなど大都市の観光も楽しみ

フェローならではのグランツール観戦ツアー

自転車事業がスタートして3年目。ジロ・デ・イタリアに続き、ツール・ド・フランス、ブエルタ・アエス・パニーヤ観戦ツアーと、グランツール観戦ツアーをすべて開催することができました。ツール・ド・フランスが、サイクルファンはもちろん、フランス観光プロモーションとして、フランスを深く知るための自転車の旅という発想にも大きな手応えを感じることができました。ツール・ド・フランス観戦+サイクリングは、まさに、フェローススタイルなのです。



ツール観戦の合間にオンコースをサイクリングしたり、ワイナリーを訪れたり

新城選手のサインは最高の記念

唯一の日本人選手、新城選手と応援団

憧れのコンタドールからサインをゲット

休息日は選手の応援

参加者とバーレンメリダのフィリップ監督





20ステージのスタート地点で参加者記念写真



マリアローザ姿のキンタナ



選手からサインももらえる



20ステージスタートのポルデノーネ



100回目の記念大会を迎えた2017年のジロ・デ・イタリア。フェローサイクルでは、16ステージから最終日21ステージのミラノでのゴールまでを観戦してきました。16ステージのステルヴィオ峠(2757m)は今年の「チマ・コッピ」(その年のジロでの最高標高地点)であり、ボルミオの街から約20km、標高差1500mという圧巻のヒルクライム! レ

過酷な峠を克服する選手たちの姿に感動!
 道路脇に残雪が残る中、多くのファンが自転車やシャトルバスを使って峠を登り、ジロニ

100回目を迎えるフェローサイクルは、一度、スイス側に下ったあと、再びウンブライユ峠を登り返し、ボルミオに下ってゴールというハードで見ごたえのあるステージです。

100回はステルヴィオ峠を越え、一度、スイス側に下ったあと、再びウンブライユ峠を登り返し、ボルミオに下ってゴールというハードで見ごたえのあるステージです。

イタリアのサイクリング熱を肌で感じる!
 感動のツアー

「ジロ・デ・イタリア2017」100回記念 観戦&サイクリングツアー

Giro d'Italia 2017 & Cycling Tour



レポート 神崎 裕一

FELLOW CYCLE Ride on the Alps



Destination Guide by Fellow Staff 2





総合優勝ドムラン(オランダ)



逆転優勝したドムラン



ドゥオモ広場はジロファンでいっぱい



ジロの優勝トロフィー

行を待ち構えます。平坦な区間で選手の手を離さず、過酷な峠を克服していく選手たちの姿には感動を覚えます。

20ステージでは、イタリア北東部に位置するポルデノーネで、スタートを観戦。地元の方の協力もあり、ヴィラジジョエリアへの入場(ここではスプマンテやエスプレッソ、ジロの新聞などがもらえます!)や選



ステルヴィオ峠の頂



ステルヴィオ峠のつづら折りの急な坂を下る

手がサインを行なうステージでの記念写真などにお客様をご案内。ヴィラジジョエリアには選手も現れ、記念写真を撮るなど、貴重な時間をお過ごしただきました。

レースは最終21ステージを前に、トップから1分以内に4選手がひしめく大接戦。すべては最終日のタイムトライアルに託されました。いつも以上に多くの人で賑わうミラノ・ドゥオモ広場。昨年の勝者であり、地元イタリアのニバリ選手が現れたとき、一番の盛り上がりを見せましたが、タイムトライアルを得意とするドムラン選手(オランダ・チームサンウエブ所属)が逆転優勝。100回記念大会にふさわしい劇的なレースとなりました。もちろんテレビなどでも観戦は可能ですが、ぜひ一度、現地に足を運び、生のレースに触れ、選手たちの息づかい、汗、観客の熱狂、イタリアの風を感じてみてください。

手がサインを行なうステージでの記念写真などにお客様をご案内。ヴィラジジョエリアには選手も現れ、記念写真を撮るなど、貴重な時間をお過ごしただきました。

レースは最終21ステージを前に、トップから1分以内に4選手がひしめく大接戦。すべては最終日のタイムトライアルに託されました。いつも以上に多くの人で賑わうミラノ・ドゥオモ広場。昨年の勝者であり、地元イタリアのニバリ選手が現れたとき、一番の盛り上がりを見せましたが、タイムトライアルを得意とするドムラン選手(オランダ・チームサンウエブ所属)が逆転優勝。100回記念大会にふさわしい劇的なレースとなりました。もちろんテレビなどでも観戦は可能ですが、ぜひ一度、現地に足を運び、生のレースに触れ、選手たちの息づかい、汗、観客の熱狂、イタリアの風を感じてみてください。



ステルヴィオ峠に向って厳しい登り坂



サス・ポルドイ展望台



ドロミテを走る



ポルドイ峠からもサイクリング



ミズリーナ湖に立ち寄り



フリウリのサイクリング

ジロ観戦の合間におすすめエリアをサイクリング

フェローサイクルでは、観戦の合間に希望者をサイクリングにご案内しております。今回のジロでは3カ所でサイクリングをお楽しみいただきました。その中でも一番馴染みが薄いと思われる、フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州でのサイクリングをご紹介します。ここは、イタリアの北東部に位置し、オーストリアやスロヴェニアと国境を接する自治州で、今年の20ステージのスタート地点、ポルデノーネなどが含まれます。ジロファンには有名な最大勾配22%、標高差1200mのモンテ・ソッコランが北部に位置しています。今回は、スロヴェニア国境に近いチビダーレを拠点として、ブドウ畑が広がるならかな丘陵地帯をサイクリングしてきました。アップダウンが少ないのんびりコースを走りましたが、レベルに応じたコース選びができるおすすめサイクリングエリアです。



サイクリングの途中ブドウ畑で休憩タイム



ドロミテのポルドイ峠に駆け上がる選手たち

ドロミテ・セラロンダ サイクリングツアー

Dolomiti Sella Ronda



レポート
水澤 史

FELLOW CYCLE
Ride on the Alps

ドロミテ



Destination Guide
by Fellow Staff

3



ドロミテの風を全身で感じ、
サイクリングで楽しむ旅
に出掛けよう！

イタリア・サイクリングと
言えばドロミテ山群

5月下旬のジロ・デ・イタリア
ア山岳ステージ観戦ツアーから
スタートしたフェローサイクル
は、第2弾として6月20日〜
28日まで「ドロミテ・サイクル・
ハイライト」の旅を催行。グラ
ンツールの一つ、ジロ・デ・イタ
リアの注目の山岳ステージで、
かならずと言ってよいほど登場
するのがドロミテ地方です。

一度は憧れのセラロンダに
挑戦してみよう！

ドロミテでは、ぜひ「セラロ
ンダ・サイクル」を体験してく
ださい。4つの峠と3つの渓谷
が織りなすドロミテの絶景シー
ンを、ヒルクライムとダウンヒ

ルの連続で約55km、標高17
80mを走ります。時に爽快
感、時に苦勞、人生のように
ペダルを漕ぎ続ければかなら
ずゴールに辿り着くのです。息
が上がったり足が上がらなくな
ったら自由に休み、並走する
サポートカーに乗り込んで、
回復したらまた走る。車、列
車での移動では体験できない
爽快なドロミテの風に出会え
るのです。

参加メンバーは
ロード体験者から初心者

フェローサイクルではいきな
りセラロンダ走行はせず、コル
チナ周辺で十分に足慣らしをし
てから、ポルドイ峠(2200
m)へ移動します。ポルドイ峠
から各自、走行前点検をし、
約11kmのアラツパまでの長いダ
ウンヒルからスタート。全員で
ゆっくりと最初のコンポロンゴ
峠、コルバラまでのヒルクライ
ム区間を走破できました。

やっとの思いで
ガルディナ峠に到着

セラ山群麓のコルバラは、
奇岩のサツソングァーを目印に

セラ峠からマルモラーダを望む

ドロミテの風を切って走る

ポルドイ峠の展望台にて

コルチナのマウンテンバイク道

絶景を見ながら全員で休憩

スタート前の打合せ





こぢんまりとした山村の佇まい。セラロンダは左手にヒルクライムのハイライトでもあるガルディナ峠(2250m)まで約8kmの九十九折の登りが続きます。様相を変えるセラ山群と、前方のゆるやかな逆半円形の地形をしたガルディナ峠を目指しながら、少し苦しくなってくるほどです。やっとの思いで峠に到着。サッソルンゴ

(3310m)の雄姿が、良くここまで登ってきたなど言っているように出迎えてくれます。
4つの峠と3つの渓谷、名峰の数々

セラロンダも中盤になり、セラ峠、ガルディナ渓谷との分岐点までダウンヒルを慎重に下ります。そろそろ疲労がピークになる頃でもあり、各

ロードバイクレンタルサービス



峠では頼りになるE-Bike(電動)



セラ山群一周コースは走り応え充分

人のペースを保って走ります。速い人は次のセラ峠で写真撮影を楽しみむなど、到着時間の差は問題ありません。ゆっくりの人は途中で足を着いて、サッソルンゴの景色を楽しみながらゆっくり登っていきます。初心者にはサポートカーという選択もありましたが、ここまです来たので、ゆっくりでも最終局面のヒルクライムを全員一緒に登ろうということになりました。目指すゴールは出発地点のポルドイ峠。
スタートしてドロミテ山群の中心、セラ山群の周囲を時計周り、反時計回りに約55kmを登ったり、下ったりしながら周回するドロミテ屈指の絶景ルート全員で走行し、大きな達成感を共有できました。ゴール後、ポルドイ峠で夕食や就寝できる喜びはひと塩。走行中に出会った「ポルドイ峠、コンポロンゴ峠、ガルディナ峠、セラ峠」の4つの峠と「バディア渓谷、ガルディナ渓谷、ファッサ渓谷」と3つの渓谷。



フェローサイクルでは1日で完走する場合と2日間に分けて走るプログラムを用意しております。ドロミテ・サイクリングマラソン・グランfondの大部分を走れることも魅力です。なお、マウンテンバイクでのセラロンダも可能です。

●距離/約55km ●標高差/1,780m ●走行時間/約5時間30分~6時間(中・上級者向け) ※初級者や体力に自信がない方は、サポートカー利用やエレクトリックバイクのレンタルをおすすめします。



そして、ドロミテ山群の名高い名峰の数々が視界を終始楽しませてくれました。
ドロミテサイクリングの楽しみは尽きない

ドロミテ近郊での魅力溢れるサイクリングコースは、セラロンダ以外にも沢山あります。コルチナダンペツォからドビアッコ経由で、自転車専用道路をオーストリアのリエンツまでの片道約80km。復路は

ドビアッコまたはサンカンディドまで自転車や電車に積んで戻り、下車したら自転車、バス、サポートカーで戻ることが可能です。来年からコルチナダンペツォからベニスまで約170kmの自転車専用道路が完成する予定。ドロミテ山群からアドリア海へという絶景ルートとベニスでグルメを楽しむことから、コルチナダンペツォへ専用車で戻るというサイクリングツアーも実現します。

ポルドイ峠にあるサイクルの記念碑



走行中に笑顔で全員集合写真



同行するサポートカー



参加した皆さんと全員で写真



フェローサイクルのコンセプト

今年40周年を迎えた海外スキー、ハイキングの専門店フェロートラベルが2014年からスタートさせた北イタリアを中心とした海外サイクリングツアーです。ロードバイク中心のプログラムですが、スタイルに合わせて1日あたり50kmを平均に最大100kmまで、日本では絶対に経験できないアルプスの絶景を走るサイクリングプログラムをプロデュースいたします。フェローサイクルとはサイクリスト仲間が集う旅という意味です。 ※2018年パンフレットは12月中旬完成予定です。



極上の海外サイクリングを実現する6つのアドバンテージ

フェローサイクルが提案する海外サイクリングの旅は、まず安全第一に、そして楽しく、海外サイクリングでしか体験できない豊富な絶景ルートやグランツールの名コースの一部を存分に走行していただくことです。初めてのお客様から上級者まで各々のレベル、ニーズを叶える極上のサイクリングをお楽しみいただけるよう海外スポーツツーリズムの専門店ならではの6つのサービスでサポートいたします。

① 1グループ8名限定のサポート体制

広大なドロミテ、ヴァッレオスタ、ロンバルディアの各エリアを安全・安心にサイクリングの旅ができるようフェローサイクルでは、1グループ8名限定でツアーを運営します。初日は足慣らしを兼ねて走行距離を50km以内にして標高差に慣れるようゆったりとしたペースで走ります。

※出発日の人数が8名様以上の場合は2グループとなります。

② 現地ではサポートカーを準備

現地では初日以外は約50～80kmのコースを中心に最大100kmまでのルート走行となります。レベル、体力によって走行距離、走行時間を短縮したり、サポートカーを一部利用いただいたり、臨機応変に対応いたします。

③ 「ゆっくりウィーク」の出発日を設定

全コースともに、通常出発日に加えて「ゆっくりウィーク」(○印の出発日)を設定しています。自転車経験が初めての方や浅い方、体力に自信がない方を対象に走行距離を短くしたり、標高差の少ないルートも取り入れたりと、サポートカーの利用頻度を多くしたりすることで、誰にでもヨーロッパを安心してお楽しみいただけます。「ゆっくりウィーク」では、ロードバイクは勿論、クロスバイク、マウンテンバイクでもご参加可能です。

※標高の高いルートなどでは電動アシストバイクのレンタルもご利用いただけます。

④ マウンテンバイクが全コースで1回体験

イタリアンアルプスではロードバイクは勿論、マウンテンバイクのメッカとしても有名です。名峰や高山植物咲き乱れる山麓で山塊に迫る醍醐味はマウンテンバイクの特権です。景色重視の比較的簡単なルートをご案内いたします。 ※マウンテンバイクの体験1回は、レンタル無料。

⑤ フェローサイクルなら自転車1台を無料で受託手荷物にできる特典付き

フェローサイクルではイタリア-イタリア航空の成田～ミラノ/直行便に限定して、日本から自転車をお1人様1台追加料金なしで受託手荷物として預けることができます。日本で乗りなれた自慢の愛車で雄大なイタリアンアルプスを走れるのは、サイクリストの憧れです。

※但し機材や経由利用の場合は有料(片道約30,000円)となります。

⑥ 地元プロショップと提携により各種レンタルバイク&走行前点検サービス

フェローサイクルでは、各エリアの滞在地でプロショップと契約しております。ロードバイク、マウンテンバイク、電動アシストバイクも豊富に用意しております。ご希望のお客様は日本出発前にフレームサイズ、身長などお知らせください。到着時の翌朝には用意ができていますのでプロスタッフとフィッティングするだけの大変便利なサービスです。なお、峠走行時など滞在中に1日だけ電動アシストバイクをレンタルすることも可能です。

※メーカー、機種につきましては、各エリアによって異なります。レンタルに添えない場合がありますので事前にご確認ください。また、ご自身の自転車をご持参される場合でもプロショップで翌朝にご希望の方は、走行前点検を無料でっております。



フェローサイクルでは、サイクルスタッフがツアーの選び方から現地情報まで丁寧にアドバイスします。

現地では、空港到着時からご帰国時の搭乗手続き時まで走行ルートの説明、走行中の安全管理、走行サポート、周辺の観光スポットのご案内、プロショップとの提携によるレンタルバイク、メンテナンス対応や滞在中のフォローアップまでの旅程管理全般をコーディネートいたします。

お申込みの際に必ずお読みください。

お申込みからご出発まで

① **お申込み** / まずお電話で空き状況をご確認の上、ご予約ください。その際、必ずパスポートと同じ名前でお申し込みください(特にハネムーンでご参加のお客様)。申込書類到着後、7日以内に申込書の返送と申込金お1人様5万円(旅行代金に充当)を下記の銀行口座にお振り込みください。お申込書とお申込金の到着を持って旅行契約の成立となります。

お振込先 ▶ 三菱東京UFJ銀行四谷三丁目支店(当座預金321256)
みずほ銀行渋谷支店(普通預金 8098364)
りそな銀行市ヶ谷支店(当座預金53839)
三井住友銀行麹町支店(当座預金264514)

振込口座名 ▶ (株)フェロートラベル

※銀行振込手数料はいずれもお客様のご負担となります。

※クレジットカードでのお支払いはできませんので予めご了承ください。

② **書類の送付** / 申込書、申込金の到着確認後、出発の45日前に残金の請求書、他旅行の補足ご案内等の書類をお送りいたします。

③ **渡航手続き** / 概にパスポートをお持ちの方も残存期間(出国時90日以上)をご確認ください。海外旅行保険のご加入の方はお早めに、遅くとも出発の2週間前までに申込書を当社までにお送りください。

④ **残金のお支払い** / 請求書に記載された期日までに、残金を銀行振り込みにてお支払いください。

⑤ **最終確定書類の送付** / ご出発の約2週間前までに、最終の日程集合案内等を含む資料一式を送付いたします。

⑥ **ご出発** / 指定の集合場所、時刻にご集合ください。パスポートを忘れなく。

募集型企画旅行条件(要約)

この旅行は(株)フェロートラベル(東京都渋谷区道玄坂2-16-8 観光庁長官登録旅行業664号)、(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。募集型企画旅行契約の内容・条件についての詳細は別紙条件書、最終日程表及び当社募集型企画旅行約款によります。

1. 旅行代金に含まれるもの

利用交通機関の運賃、宿泊料金(2名1室利用)、食料料金、お一人につき23kg(ビジネスクラス32kg)までの航空会社が指定する航空手荷物運搬料。

2. 旅行代金に含まれないもの

超過手荷物料金、クリーニング代、電話代、飲物代、その他個人的性質の諸費用、渡航手続き関係費用、運送機関の誤り付加運賃、サイクリング時のロープウェイなど山岳交通機関の料金。

3. 旅行代金のお支払い及び取り消し料

代金のお支払い: 旅行出発の前日から起算して通常45日前までにお支払いいただけます。

取消料: お客様の都合でご旅行を取り消しされる場合のキャンセル料は以下の通りです。

旅行契約の解除期日	取消料
繁忙期(7/20～8/31) 旅行開始日の前日より起算して40日前から31日前まで	旅行代金の10%
旅行開始日の前日より起算して30日前から3日前まで	旅行代金の20%
旅行開始日の2日前から当日まで	旅行代金の50%
旅行開始後及び無連絡不参加の場合	旅行代金の100%

※以上の旅行条件は2017年10月31日現在を基準としております。その他詳細につきましては別紙旅行条件書をお読みください。

お問い合わせ・お申し込みは **フェローサイクル** <http://www.fellow-travel.co.jp/>

東京本社
Tel.(03)5489-5193
Fax.(03)5489-6300

総合旅行業務取扱管理者: 澤 宏太郎
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-16-8
ビジネスウィング渋谷ビル4F
e-mail: info@fellow-travel.co.jp

大阪支店
Tel.(06)6347-8980
Fax.(06)6347-8986

総合旅行業務取扱管理者: 足立 真子
〒530-0002 大阪府大阪市北区豊崎2-3-13
若杉大阪駅前ビル6F
e-mail: osaka@fellow-travel.co.jp

名古屋営業所
Tel.(052)569-1071
Fax.(052)569-1080

総合旅行業務取扱管理者: 森下 雅史
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-16-22
名古屋ダイヤビルディング1号館6F
e-mail: nagoya@fellow-travel.co.jp

旅行企画
実 施 株式会社フェロートラベル
観光庁長官登録旅行業664号
社団法人日本旅行協会(JATA)会員



FELLOW TRAVEL

【営業時間】

月～金曜日▶10:00～18:00 土曜日▶10:00～15:00

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関しご不明な点がありましたら、ご連絡なく上記の取扱管理者にお尋ねください。

九州全域・山口県のお客様専用フリーダイヤル ☎ 0120-260-162